



晩秋の京都にて、 第13回廃棄物学会研究発表会開催

第 13 回研究発表会は、11 月 28 日(木)から 30 日(土)まで国立京都国際会館で開催されます。口頭発表、ポスター発表、シンポジウム、小集会、見学会、関西支部設立記念シンポジウムなどの企画を準備しています。とりわけ、シンポジウムは、地球温暖化をテーマに据え、京都議定書を作成したメインホールで開催されます。

京都駅から地下鉄で 20 分、しかも地下鉄出口と直結しているという便利さとは釣り合いなほどの、美しい風景と澄んだ空気の中、研究発表会は開催されます。地下鉄出口からは大きな比叡山が見えます。もう一泊して、その比叡山に足をのぼしてみると、初冬に人里に現れる猿に会えるかもしれません。

さて、この研究発表会を運営するために、年会実行委員会・幹事会では、6 回の会合を開きながら準備してまいりました。その過程で、特に、研究発表会の直前に強調したいことがいくつか出てきましたので、概要とともにお知らせいたします。

(1)セッション構成

研究発表のセッション数は 42 件となりました。また、平成 13 年度廃棄物学会論文賞、奨励賞の受賞者講演（4 件）を関連セッション（A1, A4, A5, D6）の中で行います。

※口頭発表は OHP でお願いします。

会場では、OHP を用意しており、PC プロジェクターは、準備しておりません。これを持ち込む場合には、演者自らが延長電源ケーブルを持参し、セッション開始前に置き場所を確保することをお願いいたします。また、演者交替がスムーズに進むように、ご協力をお願いします。

(2)ポスター発表

ポスター発表は昨年と同様、1 日目夕方、2 日目昼に分けて行うことになりました。また、本年から、国際セッションの一部もポスターにて発表されます。

※ポスター掲示期間にご注意！

掲示しなければならない期間は、

11 月 28 日 13:00 - 11 月 29 日 15:00 です。

撤収は 11 月 30 日の 12:00 までをお願いします。撤収時間を過ぎた場合には、会場スタッフがポスターを処分します。

※優秀ポスター賞の表彰は懇親会で

優れたポスターに対して、懇親会の場で優秀ポスター賞の表彰を行います。受賞ポスターは、総合受付付近の掲示板に午後 5 時ごろまでに発表されます。掲示を確認の上、該当した場合は懇親会(有料)にご参加下さい。

(3)国際セッション

22 件の発表が予定されており、内 14 件はポスターにて発表されます。口頭発表は 2 日目午前に第 9 会場で開催されます。

(4)シンポジウム

「地球温暖化防止と循環型社会」をテーマに 2 日目午後、第 1 会場にて開催します。

第13回廃棄物学会研究発表会
2002年11月28日[木]～11月30日[土]

会場: 国立京都国際会館(京都市左京区宝ヶ池)
参加費: 会員7,500円、学生会員4,000円、非会員12,000円

■研究発表: 廃棄物管理・計画、住民意識、LCA、リサイクル、資源化、焼却技術、ダイオキシン、排ガス処理、焼却灰安定化、埋立地管理、有害廃棄物処理、土壌地下水汚染

■シンポジウム: 地球温暖化防止と循環型社会
11月29日[金]16:00～18:00 参加費: 無料
会場: 国立京都国際会館 メインホール

■小集会 ■市民展示 ■書籍展示 ■施設見学会 ■懇親会

主催/ 廃棄物学会
学会ホームページで詳細をご覧ください。
<http://www.jswme.gr.jp/>
〒108-0014 東京都港区三軒五郎 三軒五郎ビル5F TEL: 03(3766-5191)

(5)小集会

学会ニュース No.70 に同封しました参加案内に掲載済みの計画研究部会、有害廃棄物研究部会、リサイクルシステム研究部会、社会経済研究部会、行政研究部会、試験検査法研究部会に加え、企画委員会及び消費者市民部会による「市民と学生の交流会」が開催されます(28日18:00-20:00第8会場)。

(6)市民展示他

1階メインラウンジにおいて市民団体による展示と日本の伝統である風呂敷の使い方の講座が開催されます(11月28日、29日)。

(7)若手の会

若手の会は28日のランチバイキングの場で、飲み食いしながら(呑むことはできませんが)の交流になります。

(8)見学会

今回の施設見学会では、目的施設とともにその近辺の名所が含まれます。申込みは11月28日から総合受付にて先着順となります。詳細については参加案内(学会ニュース No.70 に同封)をご覧ください。

コース1: 京エコロジーセンターと月桂冠大倉記念館

コース2: 東北部クリーンセンターと鞍馬寺

コース3: エコランド音羽の杜(東部山間埋立処分地)と醍醐三宝院

※昼食について

会場付近で、昼食を取るところが十分にありません。そのため、今回は、会場でランチバイキング(1,200円)を用意しました。なお、お弁当持参は自由ですが、建物内での飲食はご遠慮下さい。弁当容器などのごみは、各自お持ち帰り下さい。

それでは、比叡山の猿ともども、お待ち申し上げます。

(実行委員会 渡辺信久 記)

■九州支部

平成14年10月5日

九州支部設立総会、記念講演会等開催報告

平成14年10月5日に、福岡市の福岡ガーデンパレスにおいて、九州支部設立のための総会が開催され、併せて、支部設立を記念した高月紘廃棄物学会長の講演が行われた。

九州地区では、これまで5年間活動を行ってきた九州地区懇話会を発展的に解消して、支部に移行するという考えのもと、懇話会役員が発起人となり、支部設立総会が開催された。総会では、九州全体がまとまって活動し、今後、他学会との連携を取りながら活動の発展を目指すために支部規程案、役員人事案、平成14年度活動計画案、予算案などが提案され、原案通り採択されて、支部が発足した。また、花嶋正孝氏を初代九州支部長の候補者として本部理事会に推薦することとされた。

総会後、記念講演として、高月会長に「循環型社会の構築と廃棄物学会の役割」と題する講演をしていた。高月会長は、これまでの研究活動と廃棄物施策との関連を解説され、現場、実態を重視した地道な研究成果が、適切な施策立案に大きく貢献していることを示された。さらに、廃棄物学の研究者と廃棄物処理の主体である市町村等との連携が重要であるとの考えを示された。「ハイムーン」というペンネームを持つ会長らしく、自らの作品である漫画を使って、分かりやすく話を進められ、参加者も熱心に聞き入っていた。

その後の懇親会も盛会裡に開催され、九州支部は無

事に船出をした。

(九州支部幹事長 平野文昭 記)



▲設立総会の様子

▼記念講演をする高月会長



平成 14 年 9 月 25 日～27 日

第2回アジア太平洋国際埋立シンポジウム

(APLAS Seoul 2002) 参加報告

第2回アジア太平洋埋立国際シンポジウム (The 2nd Asian Pacific Landfill Symposium=APLAS Seoul 2002) が、韓国廃棄物学会の主催により9月25日から27日までの3日間、21カ国、256名の参加者を得て韓国・ソウル市 JW マリオットホテル及び国立環境研究院を会場として開催されました。今回の APLAS は、2000 年 10 月福岡市で開催された第1回における「福岡からのアピール」を受け開催されたものです。

このシンポジウムは、各国の研究者が研究成果を発表し、環境汚染を防止する適切な埋立処分のあり方等深刻化する廃棄物の処理処分問題について議論する場として、注目を集めています。今回は、前回は上回る 127 編の研究論文が発表され、参加者の増加とともに、廃棄物の適正処理における最重要課題ともいえる最終処分について関心の高さが裏付けられました。



▲韓国廃棄物学会李会長のあいさつ（開会式）

第1日目はホテル会場で午前9時から開会式が行なわれ、主催者として韓国廃棄物学会 LEE Jung Jun 会長が挨拶され、ついで韓国環境部 KIM Myung Ja 長官が祝辞を述べられ、発展するアジア太平洋地域にあって廃棄物問題への取り組みの重要性を強調されました。引き続き基調講演、招待講演があり、招待講演では、最初の講演者として花嶋正孝元廃棄物学会会長（福岡大学名誉教授）が、我国の廃棄物埋立研究の歴史について、今日までの到達点及び新技術について講演されました。招待講演は、初日に6名、最終日に2名の合わせて8名の講演者により行なわれ、各国の取り組みや研究について最新の情報が提供されました。

研究発表としては、初日に一般講演があり、二日目

には、テーマ別セッションとポスターセッション、そして三日目は、テーマ別セッションが行なわれました。廃棄物埋立政策・計画、ガス管理、浸出水処理、特殊廃棄物の埋立、跡地管理、リサイクル等広範にわたり最新技術動向と取り組むべき多くの課題が浮き彫りにされました。

第2日目は会場を国立環境研究院に移して行なわれました。併催行事として韓国廃棄物管理・リサイクル国際展示会が開催され、32の企業、研究所が出展した最新の技術情報が紹介されていました。

最終日の第3日目には、午前中のセッション終了後、午後3時から閉会式が行なわれました。その後、世界最大規模といわれている Sudokwon 埋立場と、Nanji-Do 埋立跡地を見学し、参加者は埋立規模の大きさとともに韓国の技術的なレベルの高さについて強い印象を受けていました。

APLAS は、2年毎に開催が予定されています。APLAS 諮問委員会の会議において、次回2004年について日本での開催が提案され、北九州市で開催することが決定されました。日本での2回目の開催となります。

最終日の夜、会場を再びホテルに移し、お別れ会が催されました。2004年第3回 APLAS のホスト市である北九州市から開催受け入れの挨拶があり、2004年の北九州市での再会を約し、APLAS Seoul 2002 は盛会裡に閉幕いたしました。

（中西正義 記）



▲セッション風景

【お知らせ】

廃棄物学会中国・四国支部設立記念シンポジウム

平成12年度より廃棄物学会中国・四国連絡会として活動して参りましたが、この度中国・四国支部として組織を一新して廃棄物問題に取り組んでいくことになりました。支部設立を記念して、「地球温暖化防止とバイオマス利用技術（仮）」をテーマにシンポジウムを開催いたしますので、奮ってご参加下さい。学会員以外の一般参加も歓迎いたします。

日 時：平成15年1月24日（金）14：00～19：30
会 場：ホテルグランヴィア岡山
（岡山駅中央口すぐ TEL：086-233-3131）
参加費：廃棄物学会員1,000円、非会員2,000円
申込み・問合せ先：廃棄物学会中国四国地区連絡会
今岡 務（広島工業大学）
〒731-5193 広島市佐伯区三宅2-1-1
TEL：082-921-3121 FAX：082-921-8993
E-mail：timaoka@cc.it-hiroshima.ac.jp
（参加申込みは、FaxかE-mailでお願いします。）

○廃棄物学会主催 廃棄物学会シンポジウム 「わが国の素材産業の資源循環産業化の潮流」

開催日時：平成14年11月27日（水）13：00～16：30
開催場所：幕張メッセ国際会議場 203 会議場
（ウエステック2002併催）
参加費：会員3,000円、学生会員1,000円、
非会員5,000円
問合せ先：廃棄物学会事務局 TEL：03-3769-5099

○廃棄物学会共催 日本学術会議シンポジウム
「エコトピア社会の構築をめざして」
開催日時：平成14年12月3日（火）10：00～16：25
開催場所：日本学術会議講堂
主 催：日本学術会議化学工学研連他
参加費：無料
（ただし資料代 一般2,000円、学生1,000円）
問合せ先：（社）化学工学会 TEL：03-3943-3527

※学会事務局は11月27日（水）から11月30日（土）まで研究発表会開催のため不在となります。

会 員 状 況	
	H14.10.31 現在 () 内は、H14.4.1 以降の増減
正 会 員	3,664 (197)
学生会員	292 (54)
外国人会員 (DM)	21 (2)
公益会員	114 (2)
賛助会員	209 (-1)
計	4,300 (254)

注) 外国人会員(DM)は、廃棄物学会外国人等会員規程第4条に定める会員を示す。

廃棄物学会ニュース No.71 平成14年11月15日発行
廃棄物学会 〒108-0014 東京都港区芝5-1-9 豊前ビル5F

Tel.03-3769-5099 Fax.03-3769-1492



http://www.jswme.gr.jp
古紙配合率100%再生紙を使用しています

廃棄物学会北海道支部第4回セミナー

&北海道資源・素材フォーラム2003

「使用済み自動車の処理・リサイクルの現状と課題」

日時：平成15年1月30日（木） 14：00～17：00
場所：北海道大学学術交流会館
（札幌市北区北8条西5丁目 TEL 011-706-2141）
参加費：1000円（当日会場払い、学生は無料）
懇親会参加費：4000円（当日会場払い）
参加申込：平成15年1月27日（月）までにFAX または Email で下記申し込み先に参加者の氏名、住所、勤務先、電話・FAX、Email アドレス、懇親会参加の有無をご連絡ください。なお、当日参加も可能です。
申込み・問合せ先：北海道大学大学院工学研究科
資源再生工学研究室 広吉直樹
TEL・FAX：011-706-6315
Email：hiroyosi@eng.hokudai.ac.jp

○廃棄物学会共催 第7回資源循環型生産システムシンポジウム

開催日時：平成14年12月3日（火）～4日（水）
開催場所：ナディアパーク3F「デザインホール」（名古屋市）
主 催：第7回資源循環型生産システムシンポジウム
実行委員会

参加費：無料（ただし資料代 2,000円）
問合せ先：第7回資源循環型生産システムシンポジウム
実行委員会（名古屋市年産業振興公社内）TEL:052-265-2008

○廃棄物学会共催
産業廃棄物と環境を考える全国大会
開催日時：平成14年12月6日（金）13：30～17：30
開催場所：南海サウスタワーホテル大坂
主 催：（社）全国産業廃棄物連合会、（財）日本産業廃棄物処理振興センター他
参加費：無料
問合せ先：（社）全国産業廃棄物連合会 TEL：03-3224-0811

☆☆事務局だより☆☆

紅葉が美しい季節となりました。10月には、ノーベル物理学賞、化学賞と、わが国初のダブル受賞がありました。この受賞で、わが国の科学技術に対する国際社会の評価が高まったように思われます。環境分野でも、その問題解決に向けて、科学技術が大きく貢献しております。この科学技術の発展において、学会活動が大きな役割を果たしていることはすでに衆知のとおりです。

現在、環境省の中央環境審議会において、廃棄物・リサイクル制度の見直しに関する検討が進められており、この度、1年間の検討結果が公表されました。産業廃棄物の不法投棄を減らすため、廃棄物の定義を幅広くとらえて、悪質な業者をなくし、優良な業者のリサイクル参入を容易にすることが提言されております。

廃棄物・リサイクルの分野では、解決を要するさまざまな課題が山積みとなっております。制度面での見直しの進展とあわせて、この分野における科学技術のさらなる発展を期待したいものです。

5年ぶりで学会ニュースの編集に携わることになりました。的確な情報の円滑な伝達に努めたく、皆様のご指導、ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

（松村治夫 記）